

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年9月2日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから9月2日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、9月6日の（1）ですけれども、東海再処理安全監視チームです。

これは、先日、8月28日にガラス固化処理の溶融炉が停止したことを受けまして開催するというものであります。その経緯などの説明がある見込みです。

次が、9月6日の（2）1F（福島第一原子力発電所）の事故分析検討会です。

議題は5つありまして、1つ目は、1号機の格納容器内部調査の状況の報告。ペDESTALで鉄筋がという、その調査の状況の報告です。

2つ目は、これは新しくスタートする種類の調査の話で、事故当時のモニタリングポストなどのデータの分析を始めるということのようです。

3つ目は、2号機シールドプラグの汚染状況。これも従前からずっと調査してきたものですけれども、特に今回、新しい調査結果が出るというわけではなくてはなくて、そのまとめといったようなことであります。

4つ目が、ケーブルの加熱試験について、今年度どういうことをするかといった計画が報告されるということのようです。

最後、5つ目が、8月25日・26日に、委員長も赴きました現地調査の報告ということになります。

次が、9月8日の（5）第1069回審査会合です。

議題は3つありまして、1つ目が、高浜1から4号機の保安規定です。敷地境界の変更など軽微な変更ということのようです。

2つ目は、高浜3号機の設工認。これは電気配線工事の関係の工事ということで、これも軽微なものということのようです。

3つ目が、伊方3号機の設工認。これは火災感知器のバックフィットの関係です。

次が、9月9日の（6）第1070回審査会合です。

議題は、伊方3号機の標準応答スペクトルの関係で、前回4月15日に基準地震動が1つ追加になったということを受けまして、今回、それを受けて基礎地盤、周辺斜面の安定性

評価についてということになります。

あわせて、伊方に関する新知見として、日向灘の地震の長期評価が見直されたので、それによる影響がありますか、ないですかという報告が事業者からある見込みということになっています。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—